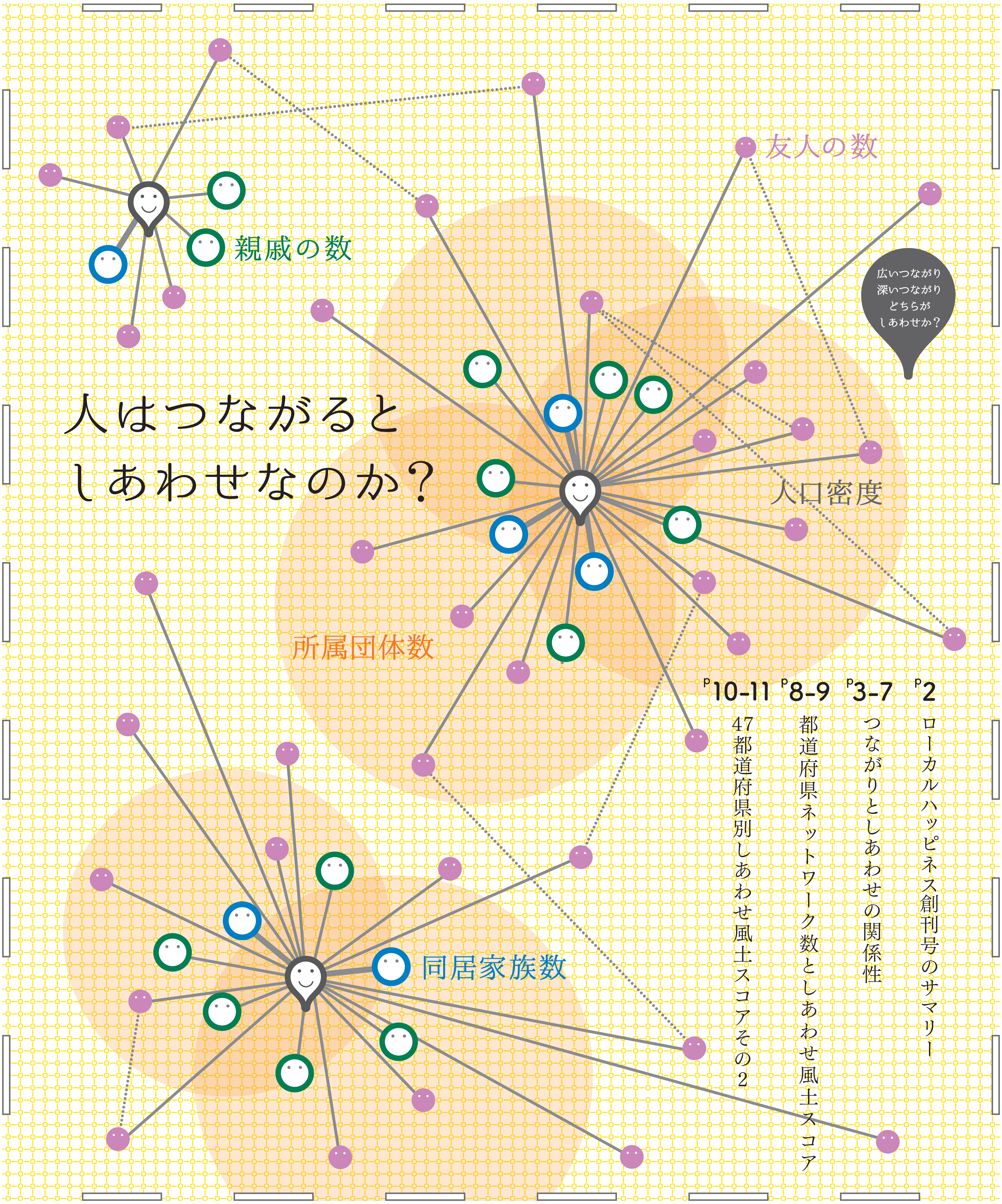
No.02
2014.09.17

ローカルハッピネス

地域しあわせラボ研究レポート

地域しあわせラボ

社会の課題に、市民の創造力を。
issue＋design

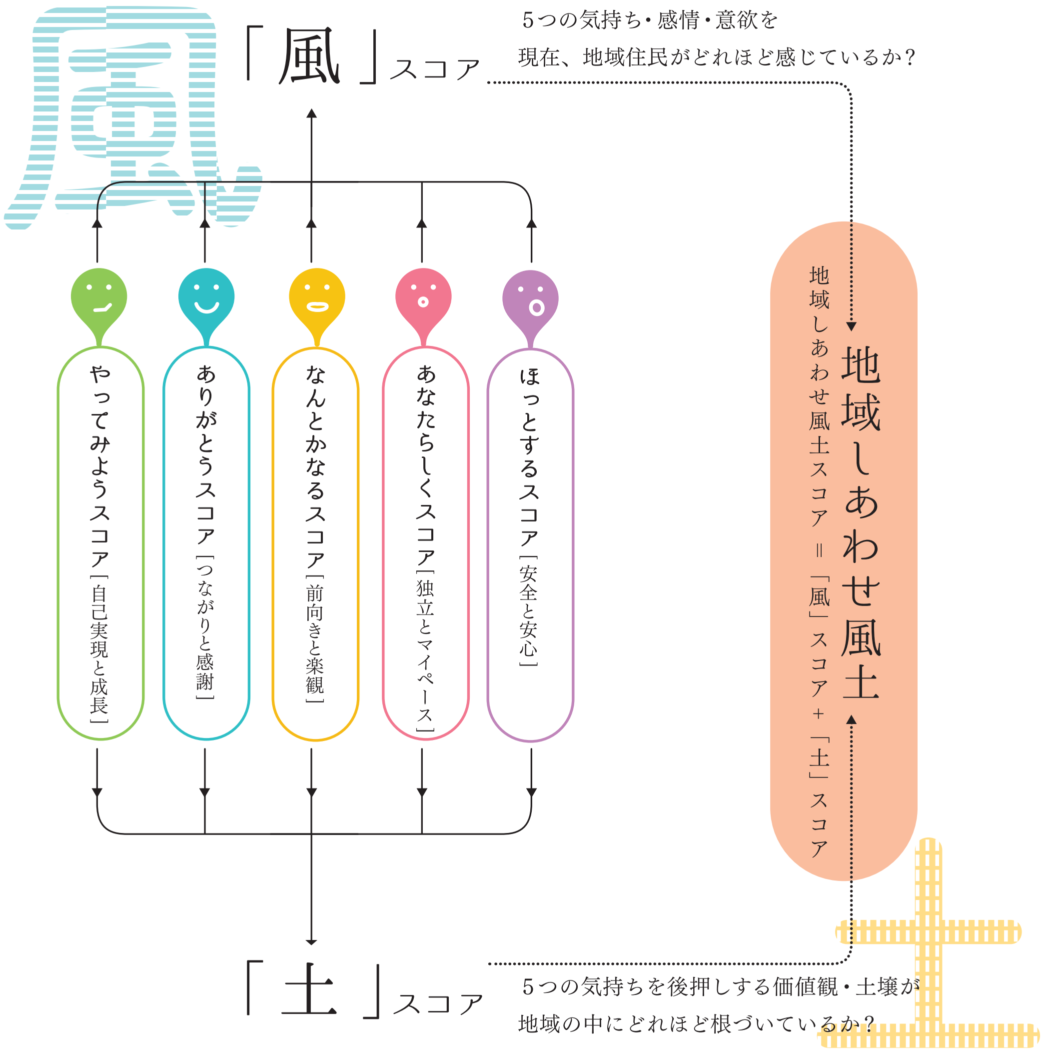


人はつながるとしあわせなのか？

P2 ローカルハッピネス創刊号のサマリー
P3-7 つながりとしあわせの関係性
P8-9 都道府県ネットワーク数としあわせ風土スコア
P10-11 47都道府県別しあわせ風土スコアその2

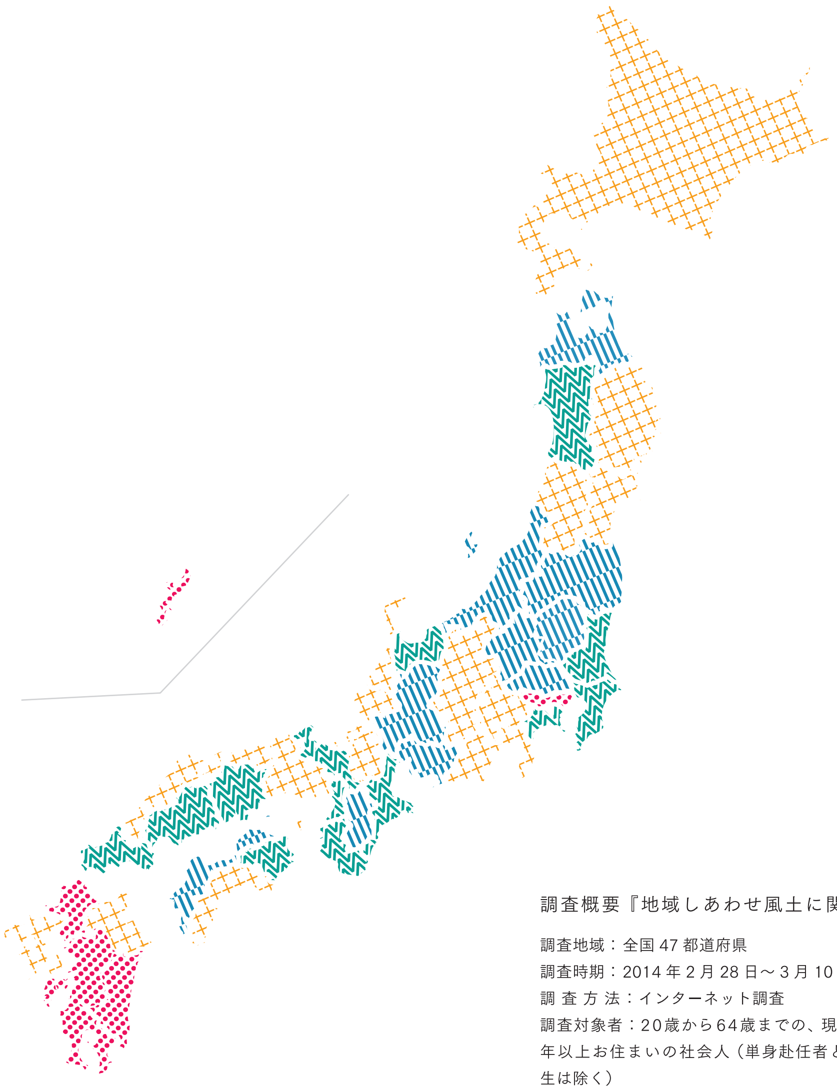
ローカルハッピネス創刊号のサマリー

ローカルハッピネス創刊号では、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科委員長・前野隆司教授とともに共同開発した、地域のしあわせ５指標（やってみよう、ありがとう、なんとかなる、あなたらしく、ほっとする）とその５指標で調査した地域にしあわせを呼ぶ風スコア（地域で暮らす人々が、やってみよう、ありがとう、なんとかなる、あなたらしく、ほっとする、この５つの気持ちを現在どの程度感じているか）、しあわせを育む土スコア（地域にこの気持ちを後押しする価値観や土壌がどの程度根ざしているか）、そして風スコアと土スコアの合計から算出する地域しあわせ風土という考え方を提唱しました。
この考え方に基づき、全国15,000人に対する地域しあわせ風土調査を行ったところ、47都道府県ごとの地域しあわせ風土スコアは以下のようになりました。



地域しあわせ風土ランキング

1. 沖縄県 （834.0）
2. 鹿児島県 （738.0）
3. 熊本県 （730.0）
4. 宮崎県 （729.3）
5. 東京都 （712.3）
6. 福岡県 （703.3）
7. 兵庫県 （688.7）
8. 長崎県 （688.0）
9. 石川県 （686.3）
10. 岩手県 （679.7）
11. 長野県 （670.0）
12. 静岡県 （669.7）
13. 福井県 （668.7）
14. 宮城県 （668.0）
15. 高知県 （667.0）
16. 佐賀県 （665.0）
17. 鳥取県 （664.3）
18. 滋賀県 （664.0）
19. 島根県 （663.3）
20. 山形県 （662.7）
21. 大分県 （662.3）
22. 北海道 （657.8）
23. 山梨県 （656.7）
24. 京都府 （647.7）
25. 富山県 （644.0）
26. 神奈川県 （635.0）
27. 和歌山県 （633.3）
28. 山口県 （630.3）
29. 秋田県 （630.0）
30. 広島県 （629.7）
31. 千葉県 （628.7）
32. 茨城県 （627.7）
33. 岡山県 （626.7）
34. 三重県 （624.0）
35. 徳島県 （618.7）
36. 大阪府 （610.0）
37. 栃木県 （609.0）
38. 奈良県 （606.0）
39. 青森県 （604.7）
40. 埼玉県 （604.3）
41. 愛媛県 （602.0）
42. 愛知県 （598.0）
43. 香川県 （595.0）
44. 岐阜県 （593.7）
45. 新潟県 （592.0）
46. 福島県 （583.0）
47. 群馬県 （576.7）



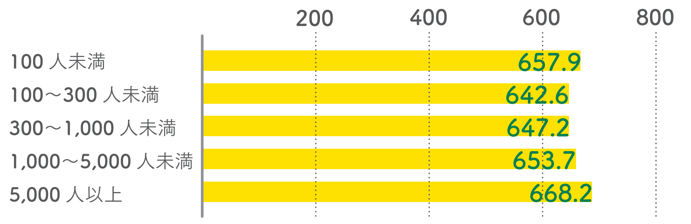
調査概要『地域しあわせ風土に関する調査』

調査地域：全国47都道府県
調査時期：2014年2月28日～3月10日
調 査 方 法：インターネット調査
調査対象者：20歳から64歳までの、現在の住まいに3年以上お住まいの社会人（単身赴任者と学業専門の学生は除く）
サンプル数：15,000、各都道府県 300 サンプル（北海道のみ道東・道央・道南・道北各 300）、男女各150名、20-34歳・35-49歳・50-64歳 各100名

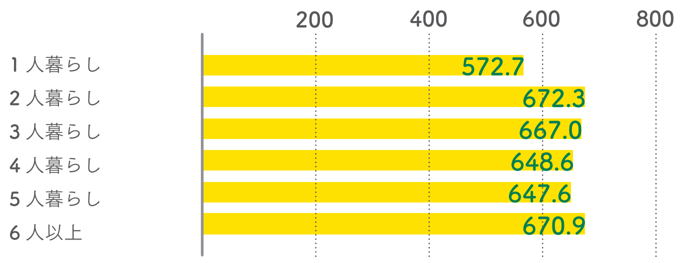
つながりとしあわせの関係性

第２号のテーマは「人はつながるとしあわせなのか？」。
人はひとりでは生きられません。地域とのつながり、家族とのつながり、友人とのつながり、色々なつながりに経済的、精神的、社会的に支えられながら生きています。７つの指標で、つながりが疎な人から密な人まで調査対象者 15,000 人を 5〜6 グループに分類し、各グループのしあわせ風土スコアを比較してみました。
７つのグラフを比較してみると、人口密度や同居家族のような物理的に近くに人がいることがそれほど人のしあわせと関係がないことがわかります。また、同居家族や親友のような近くて深い人間関係よりも、つきあいのある親戚や友人などの幅広い人間関係が人のしあわせに寄与するようです。

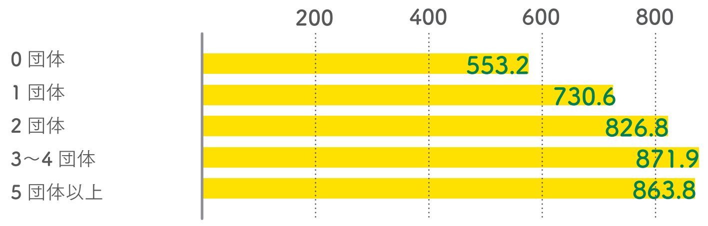
人口密度（人 / ㎢）



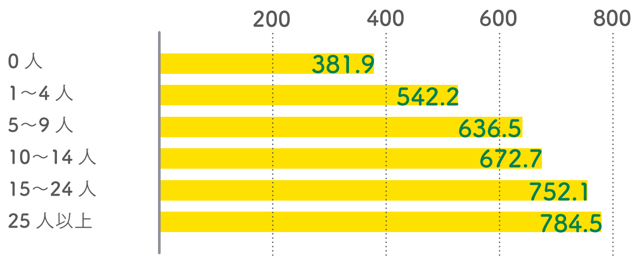
同居家族数



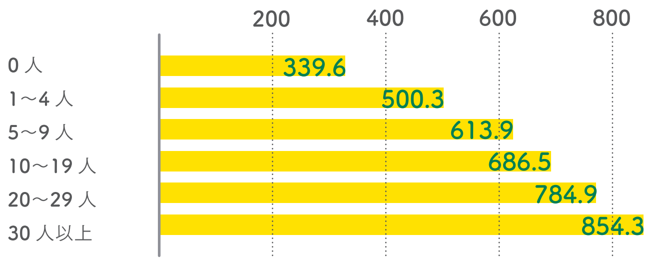
団体数



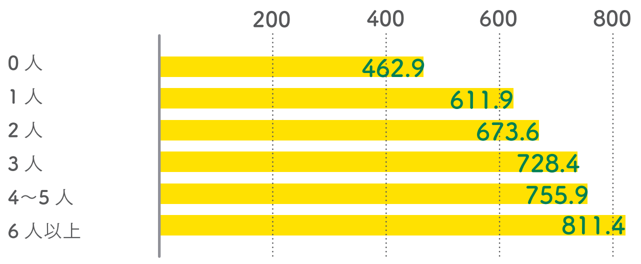
つきあいのある親戚数



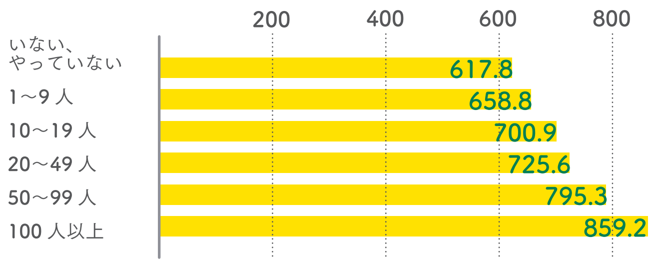
友人の数



親友の数



Facebook の友人数



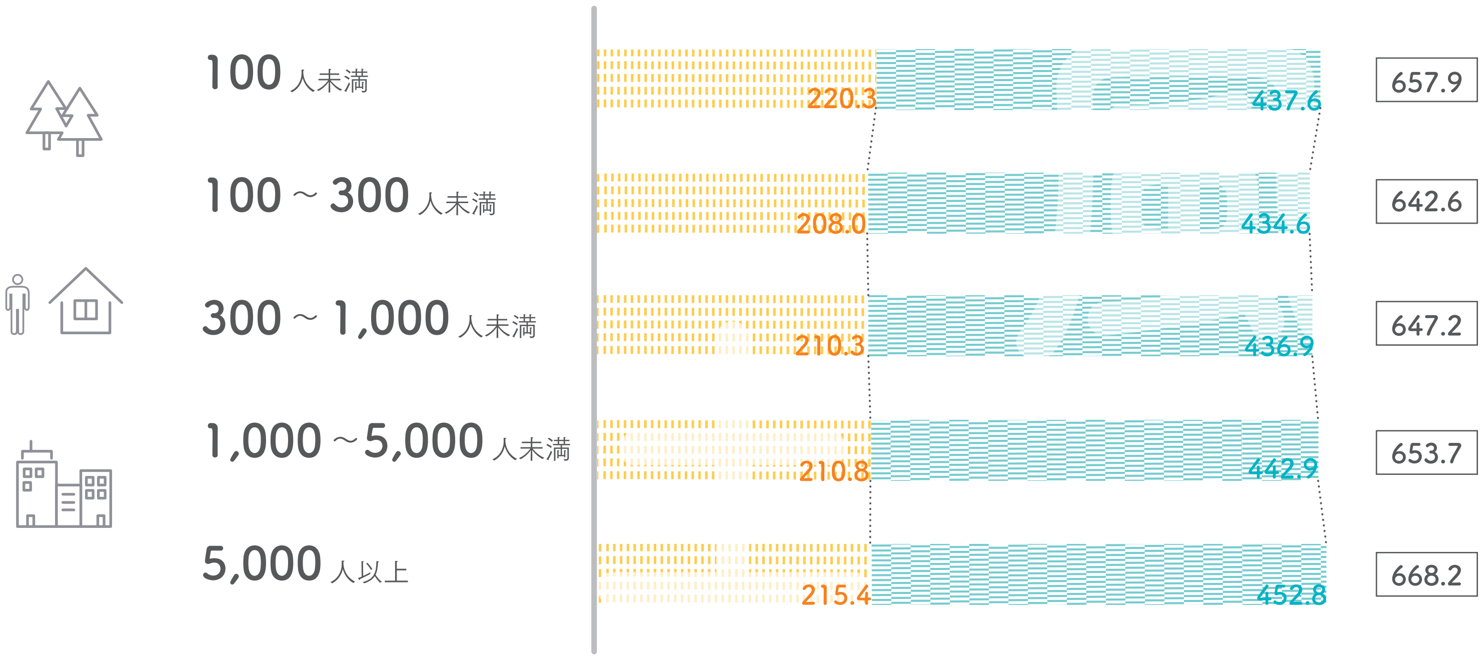
人口密度・同居家族と しあわせの関係性

物理的に近くに人がいるかどうか、どれだけ近距離に人が住んでいるか、居住地域の人口密度としあわせの関係性を分析してみました。調査対象者を居住市町村の人口密度別に 100人未満から 5,000人以上までの 5 段階のグループに分類し、分析しました。人口密度 5,000人以上の地域とは、東京 23区のような大都市圏です。100人未満の地域は中山間・離島などの過疎化が進んだ地域が大半です。人口密度という概念は各市町村の人口を面積でわったものですので、ほとんどが山間部の広大な面積の地域で、人が一部の市街地にだけ住んでいるような場合には、実態以上に人口密度が小さくなるので注意が必要です。しかし、人が密集して暮らす地域なのか、離れて暮らす地域なのかの参考になる指標です。

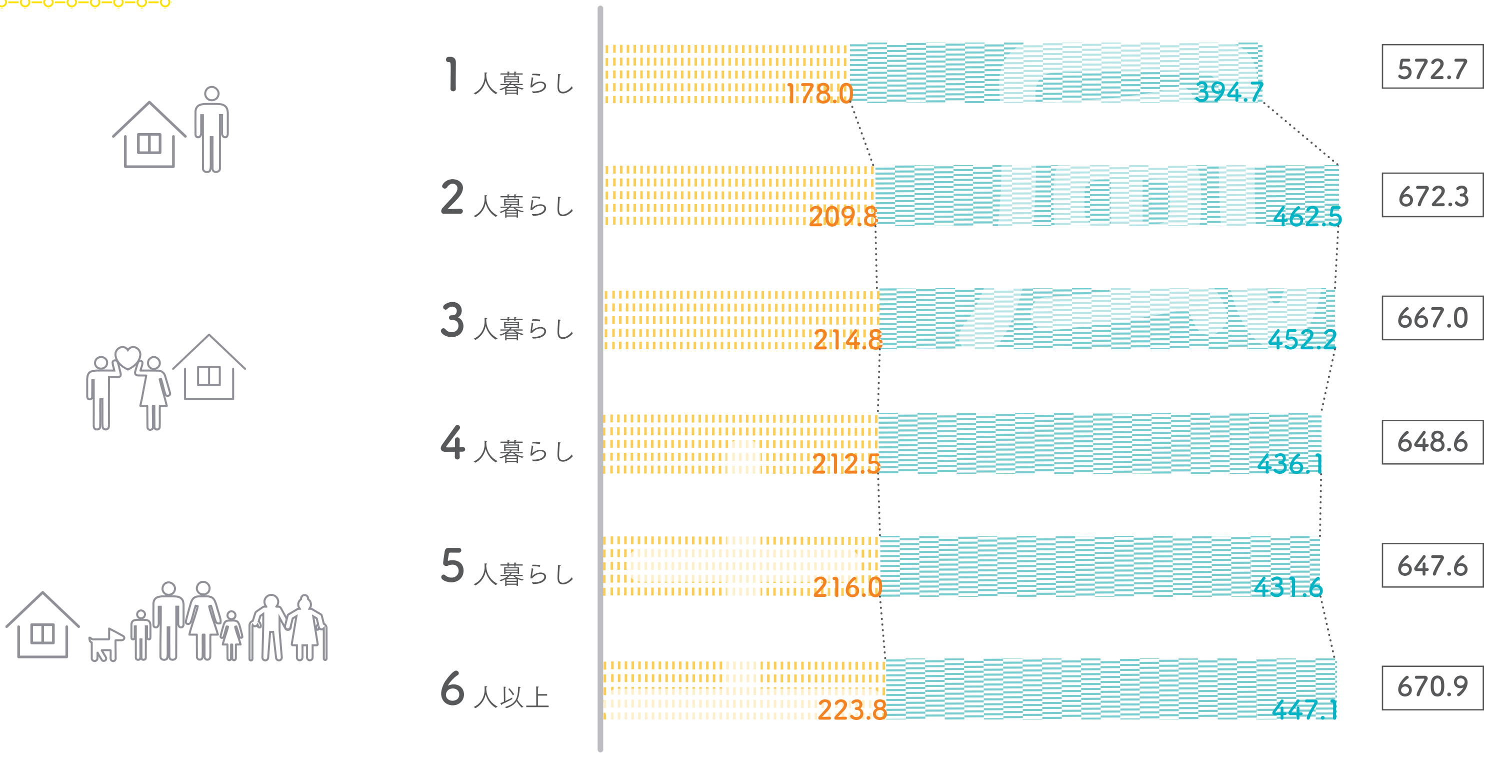
結果としては、人口密度としあわせ風土にはあまり関係性がみられませんでした。大都市でも、中山間でもしあわせな人はしあわせだし、そうではない人はそうではないのです。
同じ住宅に暮す家族の数でも大きな差は見られませんでした。１人暮らしか２人以上と比べると、やや低い傾向がみられますが、必ずしも多人数で暮らすことがしあわせなわけではないようです。

人口密度（人 / ㎢）

土スコア　風スコア



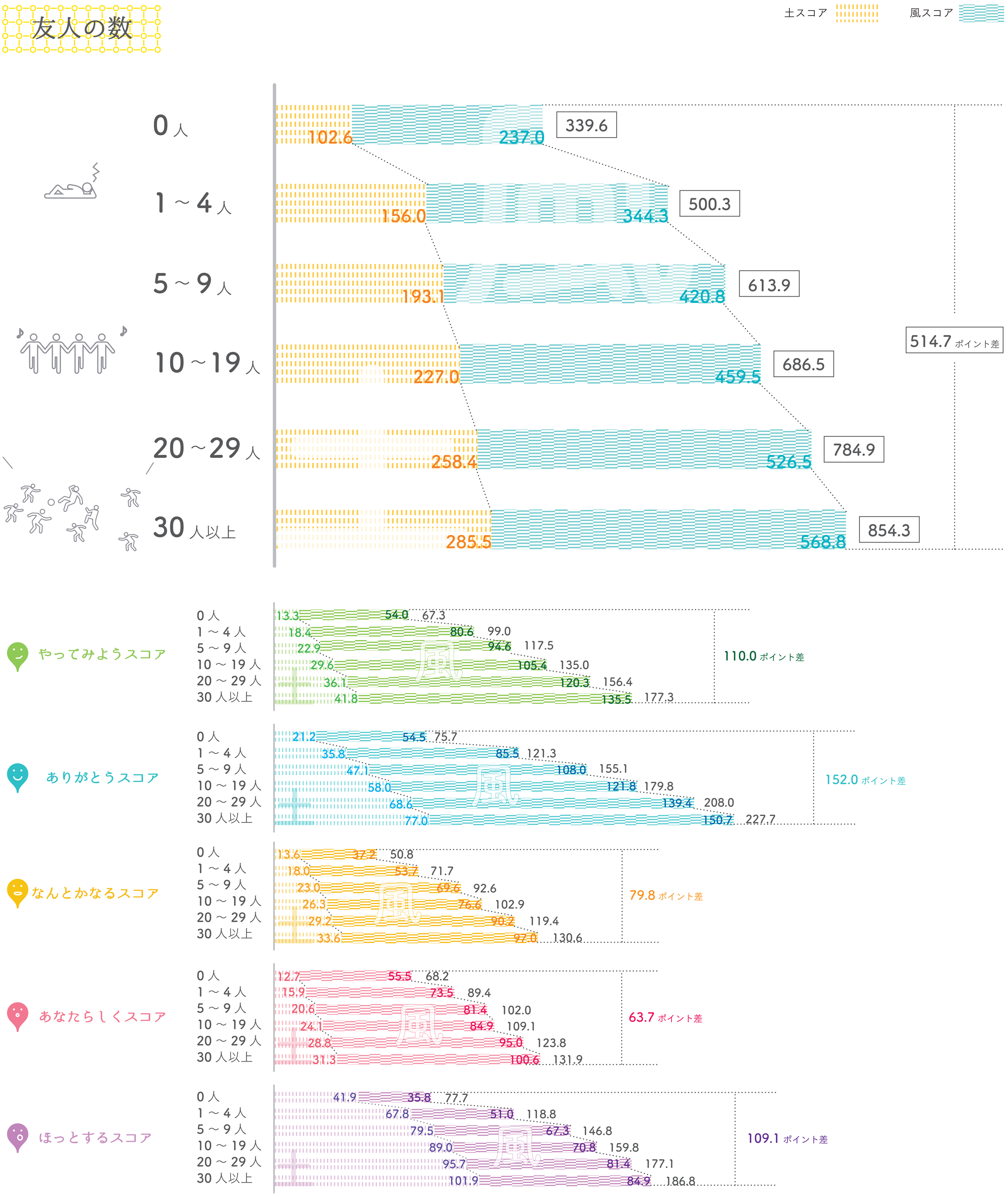
同居家族数



友人としあわせの関係性

友人の数により大きな差が見られました。友人がいないと答えた人と 30 人以上の人では、500 ポイント以上の差があります。都道府県 1 位と 47 位の差が約 250 ポイントですから、地域差の倍以上です。特に「やってみよう」と「ありがとう」の差が大きいようです。友人が多い人ほど新しいことに挑戦でき、人に感謝の気持ちを持てるようです。また、親友の数（p.03）よりも友人の数がスコアに大きく影響しています。狭く深い関係よりも、幅広い関係が人のしあわせを後押ししているようです。

友人の数

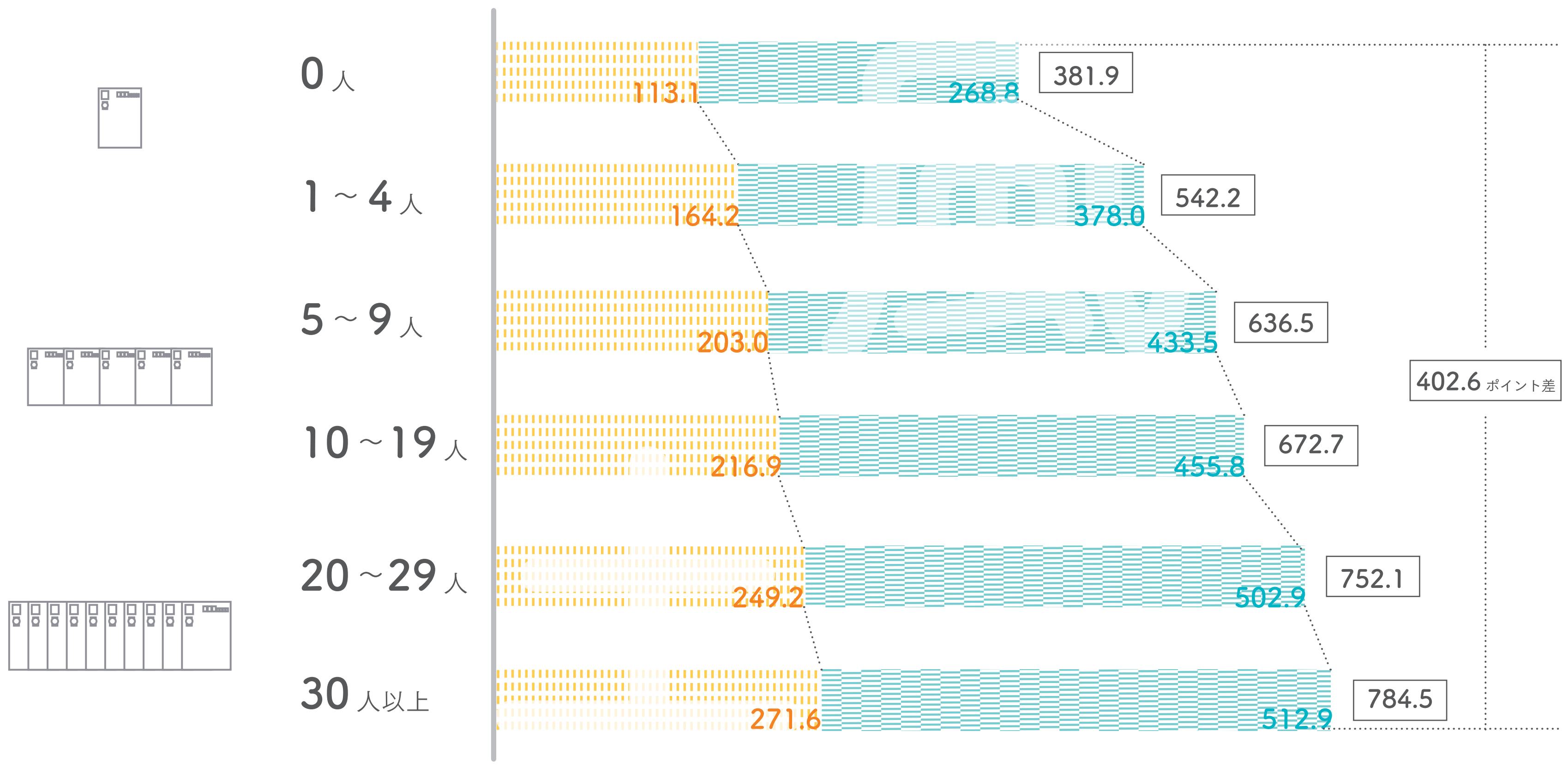


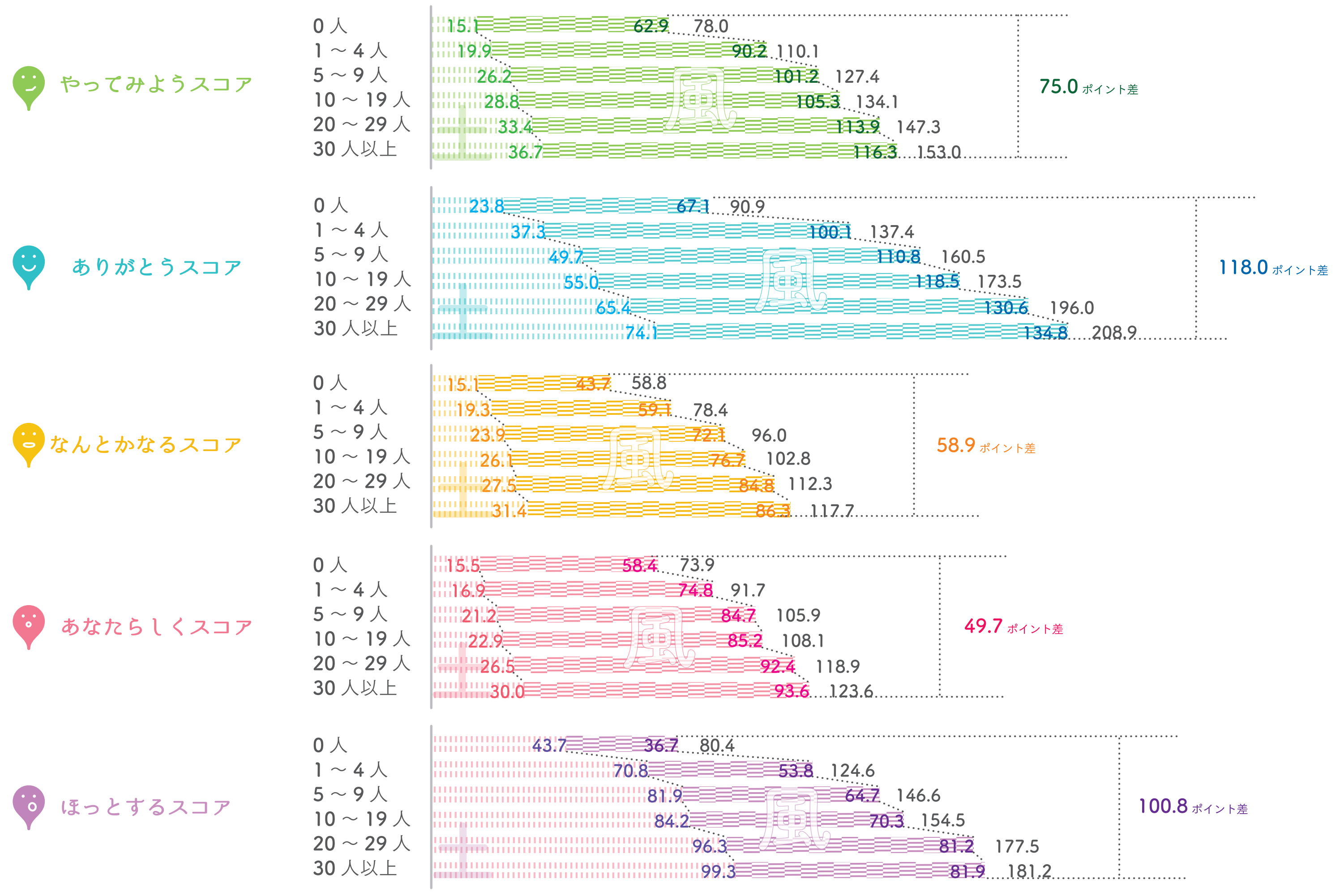
親戚としあわせの関係性

親戚の数はどうでしょうか？ 調査では、親戚づきあいを年賀状のやり取り程度以上の関係性と定義しました。1年に1回ぐらいは何らかのコミュニケーションをとる間柄ということです。友人の数ほどではないものの、0人と30人以上の差は約400ポイントとしあわせ風土スコアの差には大きな差が見られました。特に「ありがとう」のスコアの差が大きく、昔ながらの血縁関係は感謝の気持ちを育む大切な機会を生むようです。

つきあいのある親戚数

土スコア 風スコア



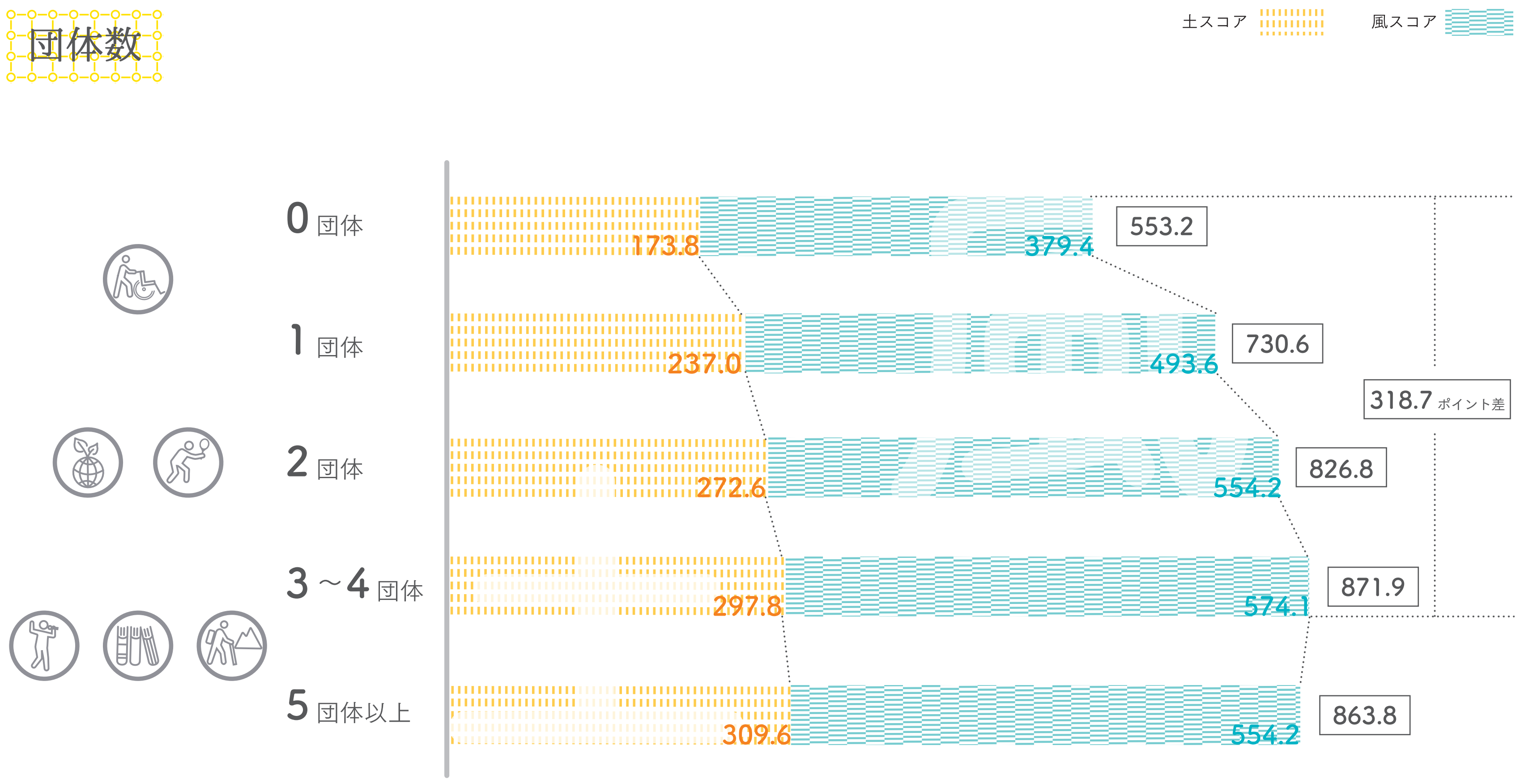


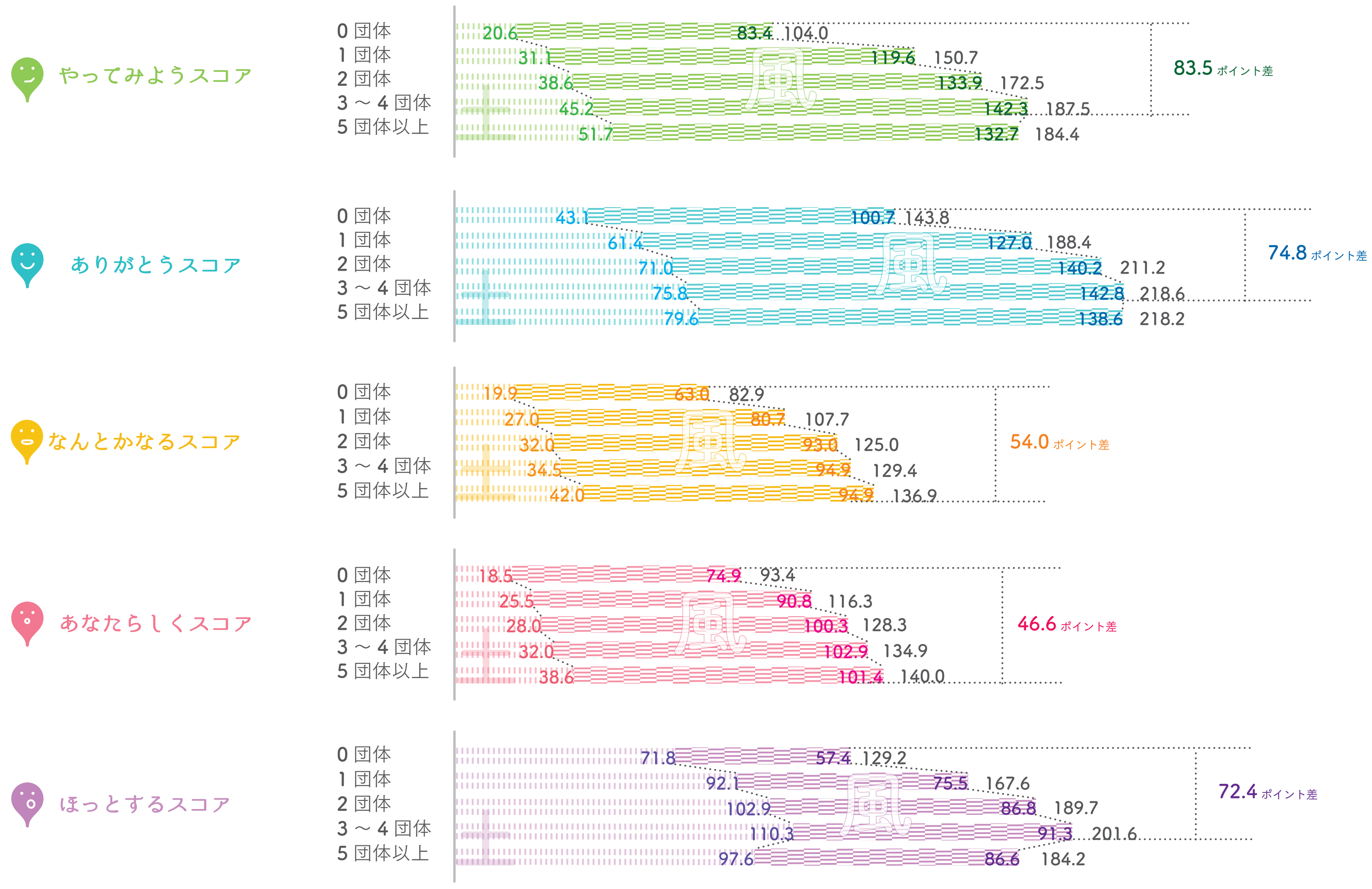
—

所属団体としあわせの関係性

趣味・スポーツ、習い事・勉強、まちづくりやボランティアなどの地域活動、宗教や政治等のグループへの所属としあわせ風土スコアにも関係性がみられました。しかし、友人や親戚の数ほどの差はありません。0と1（所属団体があるかないか）の差が大きく、3〜4団体に所属している人がピークで、5団体以上になるとややスコアが下がります。人はどこかに所属していることがしあわせにつながるものの、所属団体数が多ければ多いほどしあわせというわけではなさそうです。

団体数

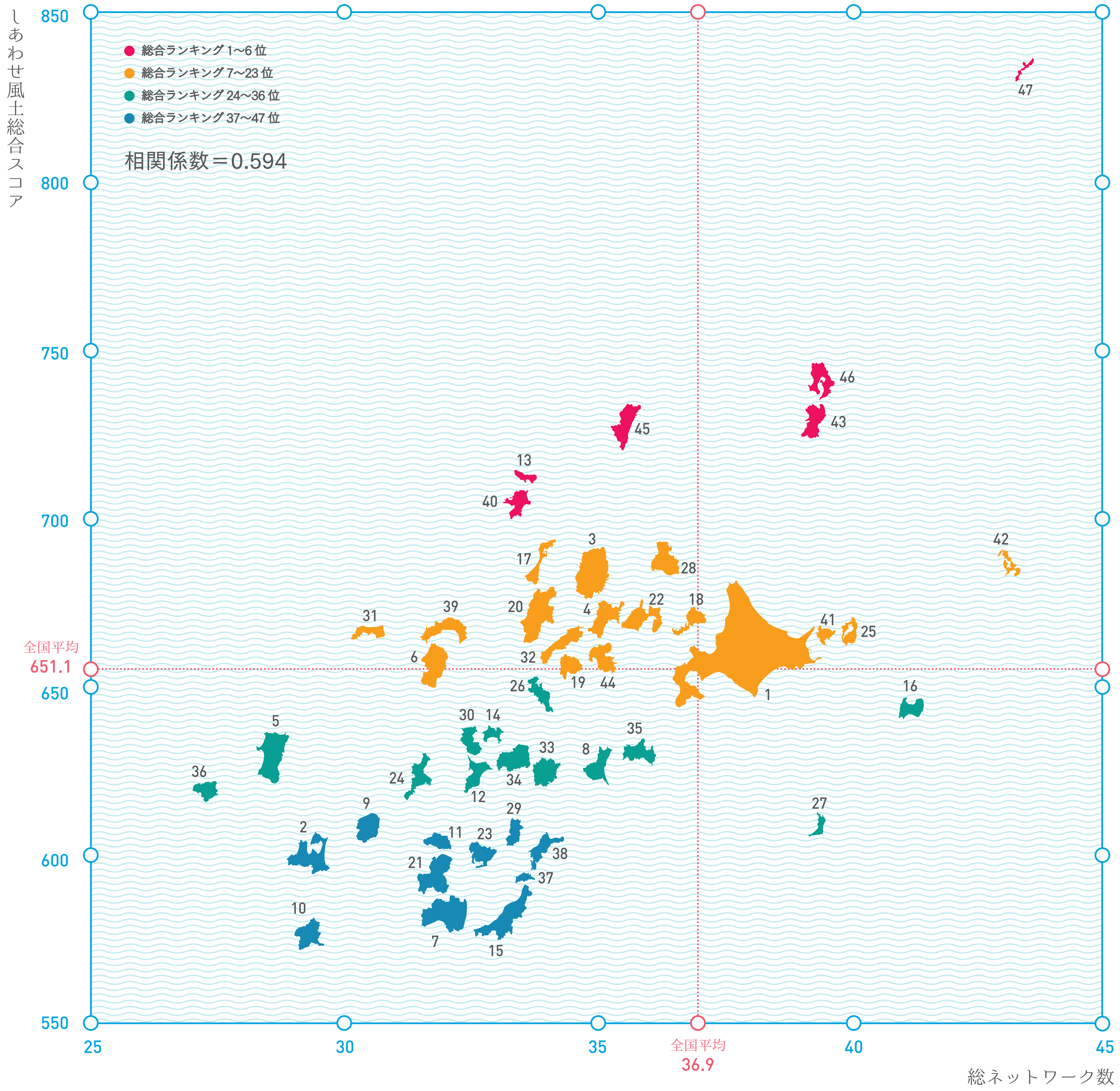




都道府県別ネットワーク数と
しあわせ風土スコア

創刊号で紹介した都道府県別のしあわせ風土スコアと住民のネットワーク数にはどんな関係があるのでしょうか？横軸に総ネットワーク数（同居家族数、つきあいのある親戚数、友人数を足したもの）、縦軸にしあわせ風土総合スコアをとったものが下の表です。この２つのスコアの相関係数は 0.594 と相関関係がみられます。住民のネットワーク数が多い都道府県ほど、しあわせ風土スコアが高い傾向です。地域のしあわせ風土スコアを高めるためには、住民のネットワーク数を増やす。すなわち、失われつつある地域コミュニティを活性化する。住民同士の交流の機会や場を増やす。観光振興や移住者誘致により、地域外との交流人口を増やすということが効果を発揮しそうです。

1 北海道	13 東京都	25 滋賀県	37 香川県
2 青森県	14 神奈川県	26 京都府	38 愛媛県
3 岩手県	15 新潟県	27 大阪府	39 高知県
4 宮城県	16 富山県	28 兵庫県	40 福岡県
5 秋田県	17 石川県	29 奈良県	41 佐賀県
6 山形県	18 福井県	30 和歌山県	42 長崎県
7 福島県	19 山梨県	31 鳥取県	43 熊本県
8 茨城県	20 長野県	32 島根県	44 大分県
9 栃木県	21 岐阜県	33 岡山県	45 宮崎県
10 群馬県	22 静岡県	34 広島県	46 鹿児島県
11 埼玉県	23 愛知県	35 山口県	47 沖縄県
12 千葉県	24 三重県	36 徳島県	



都道府県別データ

47 都道府県別のネットワーク数、所属団体数をその内訳とともに紹介します。

都道府県	ランキング	ネットワーク数				
		総ネットワーク数	同居家族数	つきあいのある親戚数	友人の数	（参考）フェイスブックの友人数
北海道	9	37.82	2.43	18.78	16.61	14.31
青森県	45	29.31	2.79	13.90	12.63	6.32
岩手県	17	35.17	2.86	15.16	17.14	8.21
宮城県	15	35.27	2.55	17.14	15.58	7.04
秋田県	46	28.75	2.77	11.80	14.17	10.59
山形県	39	31.88	3.06	16.01	12.82	12.68
福島県	38	31.92	2.76	15.22	13.94	8.65
茨城県	18	34.88	2.64	16.93	15.31	10.30
栃木県	42	30.66	2.75	12.99	14.92	9.83
群馬県	44	29.40	2.61	12.81	13.99	9.11
埼玉県	40	31.87	2.61	13.84	15.43	11.20
千葉県	33	32.72	2.65	12.92	17.15	15.39
東京都	26	33.57	1.99	10.62	20.96	30.53
神奈川県	32	32.78	2.41	12.52	17.85	17.17
新潟県	30	33.25	2.97	13.60	16.68	10.92
富山県	3	41.28	3.14	17.73	20.40	17.46
石川県	23	33.95	2.87	15.69	15.39	18.39
福井県	10	36.72	3.01	17.82	15.89	21.11
山梨県	20	34.38	2.62	15.94	15.83	10.89
長野県	22	33.96	2.74	14.72	16.51	11.55
岐阜県	37	31.98	3.03	14.53	14.42	13.79
静岡県	13	35.65	2.76	14.48	18.40	15.81
愛知県	34	32.68	2.76	12.33	17.59	11.91
三重県	41	31.62	2.83	13.39	15.40	9.09
滋賀県	4	39.76	2.80	18.25	18.71	11.02
京都府	24	33.86	2.53	12.68	18.65	17.79
大阪府	6	39.51	2.36	15.52	21.63	22.59
兵庫県	11	36.32	2.64	16.00	17.68	18.23
奈良県	28	33.41	2.90	14.88	15.64	16.98
和歌山県	35	32.62	2.83	14.41	15.38	13.63
鳥取県	43	30.48	2.94	13.05	14.48	12.35
島根県	19	34.77	2.89	15.24	16.64	13.20
岡山県	25	33.81	2.78	14.26	16.77	14.53
広島県	29	33.27	2.68	13.18	17.41	11.80
山口県	12	35.89	2.51	16.46	16.92	10.60
徳島県	47	27.40	2.65	11.80	12.95	8.87
香川県	27	33.56	2.80	15.68	15.09	16.21
愛媛県	21	34.02	2.74	16.17	15.11	15.97
高知県	36	32.07	2.52	14.75	14.81	12.31
福岡県	31	33.23	2.37	13.91	16.95	17.83
佐賀県	5	39.58	2.95	16.24	20.39	19.84
長崎県	2	43.19	2.67	18.23	22.30	18.67
熊本県	8	39.50	2.82	16.89	19.79	22.02
大分県	16	35.21	2.61	15.57	17.03	19.22
宮崎県	14	35.36	2.48	15.98	16.90	25.51
鹿児島県	6	39.51	2.45	16.54	20.52	17.07
沖縄県	1	43.45	2.57	17.88	23.00	29.92

都道府県	ランキング	所属コミュニティ数			
		総所属数	趣味・勉強スポーツ	ボランティアまちづくり	政治・宗教
北海道	4	1.64	1.11	0.37	0.17
青森県	40	0.98	0.69	0.18	0.11
岩手県	21	1.20	0.71	0.37	0.12
宮城県	40	0.98	0.53	0.38	0.07
秋田県	47	0.76	0.50	0.19	0.06
山形県	7	1.52	1.04	0.38	0.10
福島県	11	1.33	0.90	0.30	0.13
茨城県	20	1.23	0.97	0.16	0.09
栃木県	8	1.45	1.09	0.24	0.12
群馬県	29	1.12	0.75	0.33	0.04
埼玉県	33	1.05	0.79	0.17	0.09
千葉県	19	1.26	0.84	0.36	0.06
東京都	3	1.90	1.33	0.50	0.07
神奈川県	18	1.29	0.98	0.18	0.13
新潟県	46	0.78	0.47	0.22	0.08
富山県	31	1.07	0.73	0.26	0.08
石川県	2	2.01	1.11	0.37	0.53
福井県	33	1.05	0.64	0.30	0.11
山梨県	1	2.06	1.33	0.60	0.13
長野県	32	1.06	0.60	0.33	0.12
岐阜県	43	0.94	0.73	0.14	0.07
静岡県	15	1.31	0.93	0.25	0.14
愛知県	13	1.32	0.83	0.41	0.09
三重県	38	0.99	0.64	0.22	0.14
滋賀県	11	1.33	0.75	0.38	0.20
京都府	15	1.31	1.02	0.22	0.07
大阪府	25	1.16	0.91	0.17	0.09
兵庫県	9	1.41	1.09	0.24	0.09
奈良県	30	1.10	0.77	0.19	0.15
和歌山県	36	1.00	0.54	0.29	0.17
鳥取県	27	1.13	0.67	0.33	0.13
島根県	6	1.57	0.88	0.54	0.16
岡山県	27	1.13	0.75	0.29	0.09
広島県	38	0.99	0.70	0.20	0.10
山口県	24	1.18	0.65	0.32	0.20
徳島県	42	0.95	0.74	0.13	0.08
香川県	36	1.00	0.62	0.29	0.09
愛媛県	17	1.30	0.84	0.40	0.07
高知県	45	0.81	0.60	0.16	0.05
福岡県	44	0.93	0.59	0.25	0.09
佐賀県	13	1.32	1.01	0.20	0.11
長崎県	35	1.04	0.63	0.22	0.19
熊本県	21	1.20	0.77	0.31	0.13
大分県	26	1.14	0.69	0.29	0.17
宮崎県	23	1.19	0.78	0.30	0.12
鹿児島県	10	1.40	1.05	0.24	0.11
沖縄県	5	1.58	1.19	0.31	0.07

—

47都道府県別
地域しあわせ風土スコア
その２　山梨県〜福井県編

各都道府県別に、以下の項目をまとめました。

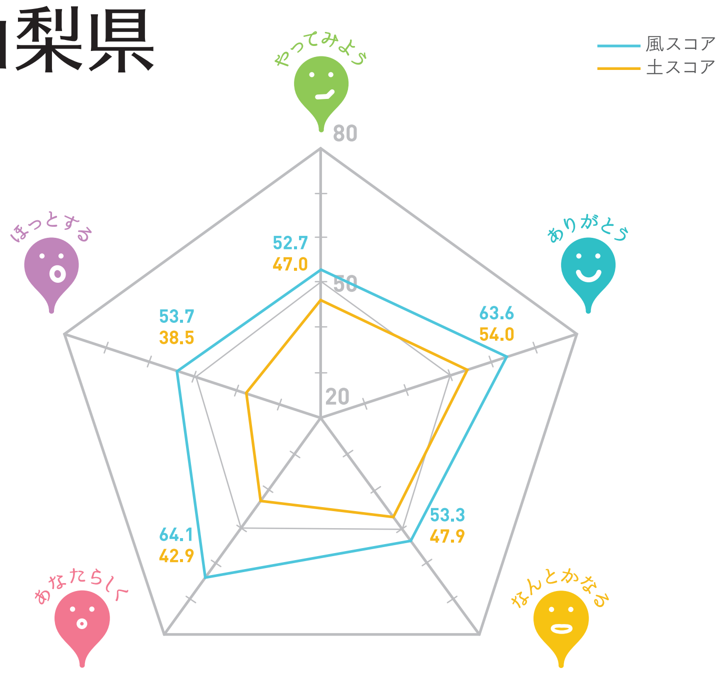
・しあわせ風土スコア、風スコア、土スコアとその順位

・風５指標、土５指標の47都道府県内での偏差値（50が47都道府県平均）

・地域のインフラや環境に関する以下40項目の充実度（5段階評価の「非常に充実している」と「少し充実している」の合計スコア）の上位・下位5項目（47都道府県ランキングで上位のもの、下位のもの）

①働き口・求人の質や量 ②地場産業・地元企業支援の施設や制度 ③高齢者支援の施設や制度 ④医療・健康のための施設や制度 ⑤出産・育児支援のための施設や制度 ⑥障害者支援のための施設や制度 ⑦小学校・中学校・高校の施設や制度 ⑧大学・大学院・専門学校の施設や制度 ⑨社会人教育・生涯教育の施設や制度 ⑩レジャーや娯楽のための施設や制度 ⑪美術館・博物館 ⑫図書館 ⑬公民館・コミュニティセンターなどの交流施設 ⑭公園・スポーツ施設 ⑮地域活動の機会や支援制度 ⑯お祭り・イベント ⑰景観・まちなみ ⑱寺・神社・史跡などの歴史遺産 ⑲商店街・中心市街地 ⑳買い物や飲食の店舗の質と量 ㉑住宅の数や広さ ㉒家賃や土地の価格 ㉓日用品の価格・物価 ㉔道路などの自動車交通インフラ ㉕電車・バスなどの公共交通インフラ ㉖山・川・海などの自然環境 ㉗天候 ㉘農産物・水産物など食材の質や食文化 ㉙工芸品・工業製品などの質 ㉚水・空気の質 ㉛省エネ・低CO2・環境保護への取り組み ㉜メディアや通信環境 ㉝電気・ガス・水道などの生活インフラ ㉞ごみ処理・リサイクルの施設や制度 ㉟治安・犯罪防止のための施設や制度 ㊱地震・水害・火事等防災のための施設や制度 ㊲地域の知名度 ㊳国際性・外国人の受け入れ ㊴公務員の対応やサービス ㊵地域の暮らしに関する自治体の情報提供

山梨県



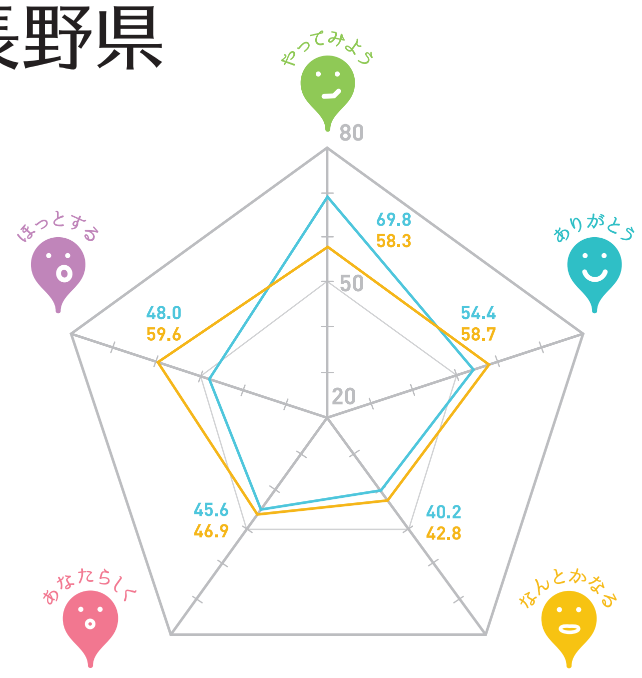
総合　23位（656.7pt）
風　5位（460.3pt）
土　29位（196.3pt）

風は５位とトップ10水準だが、土が29位と差が大きい。図書館・美術館などの文化資産、水・空気・自然と自然面での評価が高いものの、防災・交通などの生活インフラ、教育・高齢者・障害者支援などの福祉面の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
図書館	6	45.3
美術館・博物館	10	27.7
水、空気の質	12	64.7
歴史遺産	17	34.3
自然環境	17	60.3

▼充実度下位項目	ランク	充実度
高齢者支援	46	9.7
小中高教育	46	19.3
生涯教育	46	5.0
公共交通インフラ	46	5.0
障害者支援	47	6.0
防災施設・制度	47	9.7

長野県



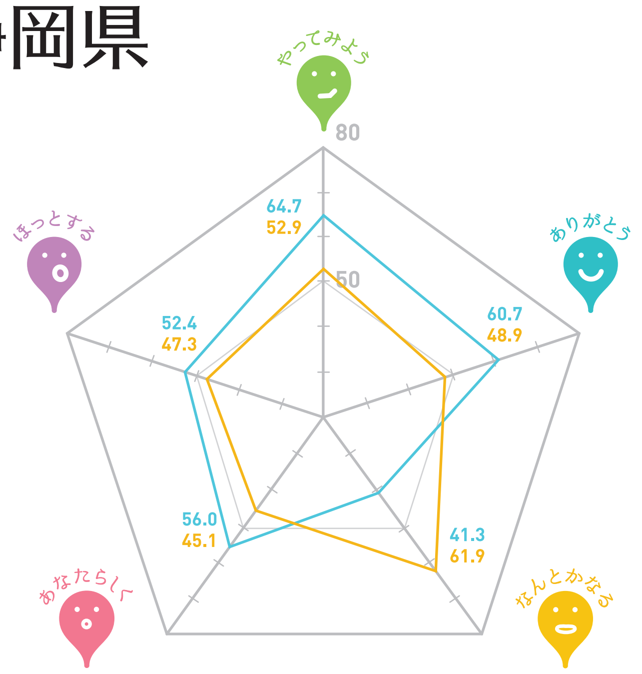
総合　11位（670.0pt）
風　16位（442.7pt）
土　13位（227.3pt）

総合11位、土13位とトップ10水準。風の「やってみよう」が69.8ときわめて高い。
水・空気・自然、環境保護と自然面の評価が高いものの、大学教育、交通、商店街、飲食・買い物など生活の利便性の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
水・空気の質	1	73.7
自然環境	3	70.3
公民館	6	37.7
歴史遺産	9	39.7
環境保護	9	16.0

▼充実度下位項目	ランク	充実度
働き口	33	9.7
出産・育児支援	33	14.0
自動車交通インフラ	33	25.0
飲食・買い物店舗	34	14.3
商店街・中心市街地	38	5.7
公共交通インフラ	38	7.7
大学教育	45	5.7

静岡県



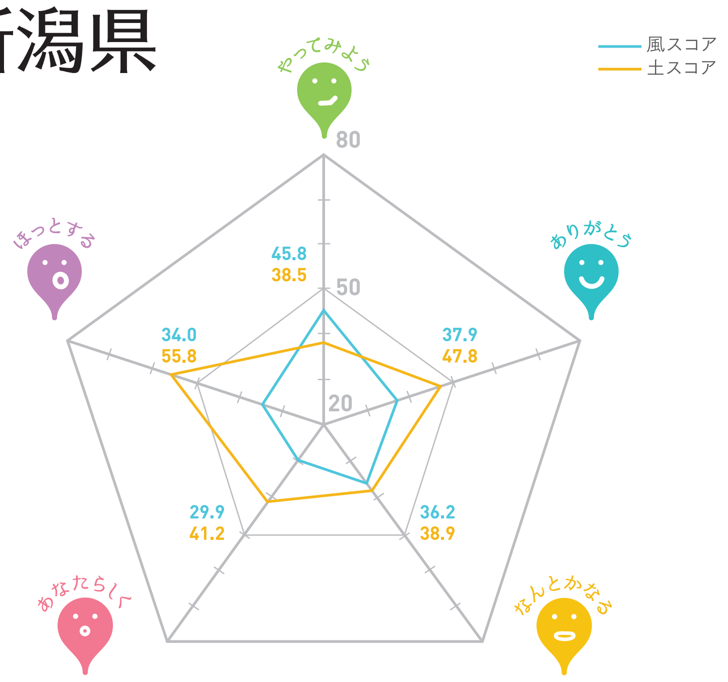
総合　12位（669.7pt）
風　11位（452.7pt）
土　21位（217.0pt）

総合12位、風11位とトップ10水準。「なんとかなる」を除いた４指標で風が土より一回り大きい。天候に恵まれ、東海地震への備えからか防災の取り組みへの評価が高いものの、小中高大学教育、公民館や地域活動への評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
天候	4	58.7
防災施設・制度	5	21.3
国際性	13	18.7
公務員の対応	13	12.0
地域の知名度	15	26.0

▼充実度下位項目	ランク	充実度
公民館	41	25.0
地域活動の機会・支援	41	10.0
小中高教育	44	19.3
物価	45	19.3
大学教育	46	5.3

新潟県



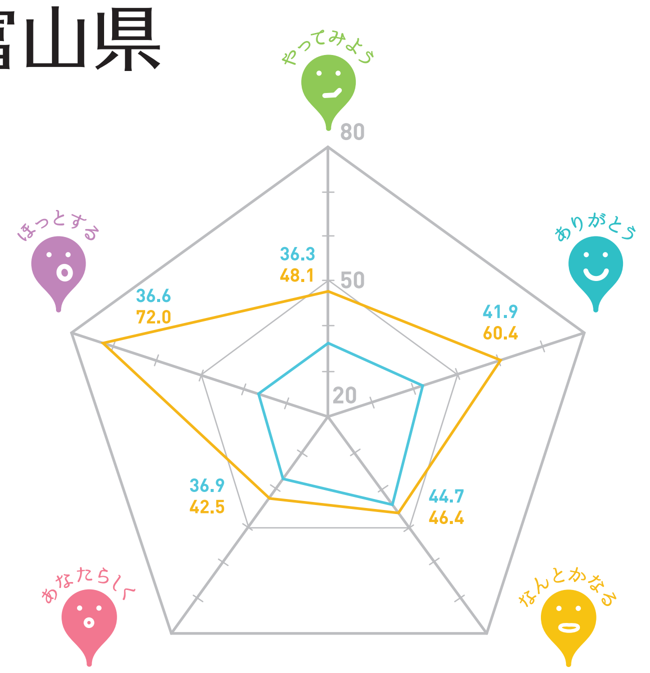
総合　45 位 (592.0pt)
風　46 位 (401.7pt)
土　34 位 (190.3pt)

土が風を上回る。電気・ゴミ・自動車交通等インフラ面、ものづくりや自治体の情報提供の評価が高い。一方、豪雪地帯のためか天候、環境保護、景観やまちなみ、医療・出産・育児支援の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
電気・ガス・水道	11	45.7
ゴミ処理施設・制度	12	41.0
ものづくりの質	14	24.7
自動車交通インフラ	16	34.0
自治体の情報提供	16	14.0

▼充実度下位項目	ランク	充実度
医療支援	43	16.7
出産・育児支援	43	11.0
景観・まちなみ	45	19.3
天候	45	19.0
環境保護	46	7.0

富山県



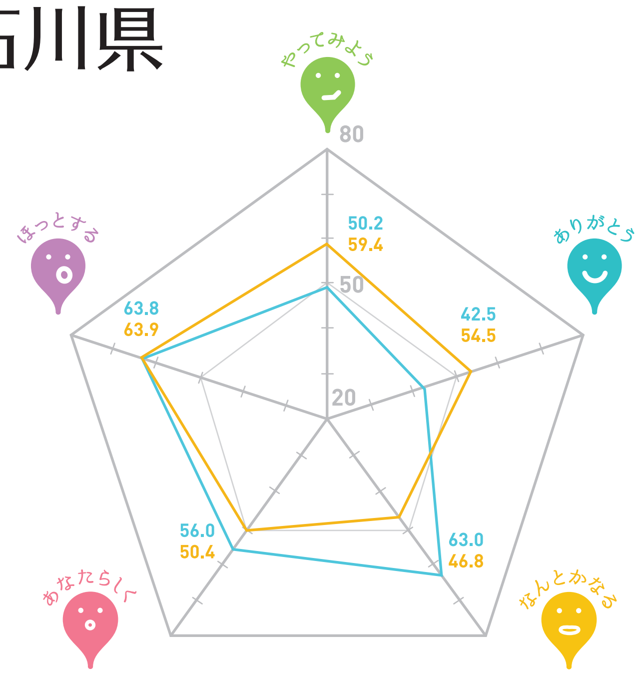
総合　25 位 (644.0pt)
風　45 位 (409.3pt)
土　8 位 (234.7pt)

土はトップ 10、風は 40 番台と評価の差が大きいのが特徴的。定評のある住環境、食材や水・空気などの自然環境、ものづくりの評価が高い。一方、知名度、国際性、天候、娯楽やメディア環境の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
住宅の数・広さ	1	54.3
地価・家賃	1	36.3
ものづくりの質	2	34.0
食材の質・食文化	4	58.0
水・空気の質	4	71.7
防災施設・制度	4	21.3

▼充実度下位項目	ランク	充実度
メディア・通信環境	38	19.3
娯楽施設・制度	39	6.3
天候	41	24.7
国際性	44	6.7
地域の知名度	45	8.7

石川県



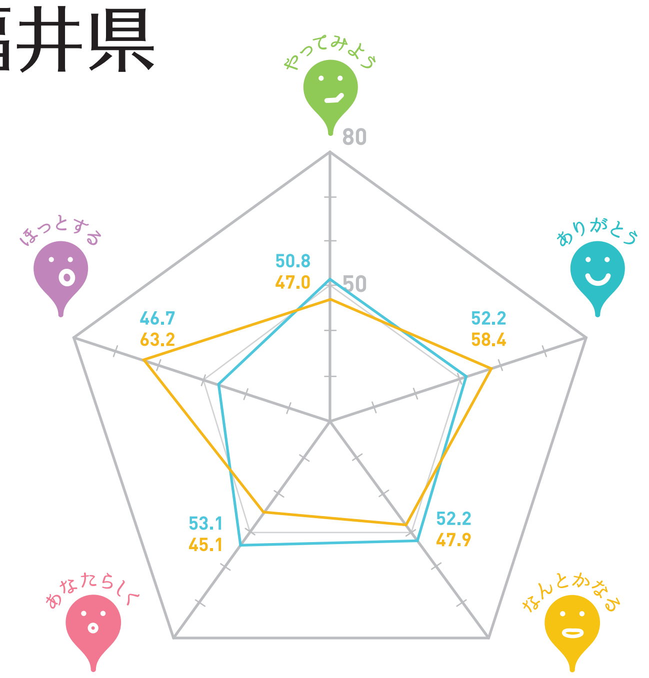
総合　9 位 (686.3pt)
風　10 位 (453.0pt)
土　10 位 (233.3pt)

風、土ともに 10 位、総合 9 位と安定した高い評価。ものづくり、美術館、景観、図書館、歴史遺産と文化的側面の評価が高い。一方、北陸共通の天候の悪さ、公共交通、公民館、公園と公の場の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
ものづくりの質	1	50.3
美術館・博物館	2	38.7
景観・まちなみ	2	44.7
図書館	3	49.3
歴史遺産	4	49.0

▼充実度下位項目	ランク	充実度
公民館	21	32.3
公園・運動施設	21	33.0
高齢者支援	22	17.0
公共交通インフラ	23	14.3
天候	43	21.0

福井県



総合　13 位 (668.7pt)
風　18 位 (442.0pt)
土　15 位 (226.7pt)

風、土ともに 10 番台で総合もトップ 10 水準。風は正五角形に近い。育児、高齢者、障害者支援などの福祉面および住宅の評価が高い。一方、知名度、商店街や飲食・買い物店舗、公共交通インフラなどの生活の利便性の評価が低い。

△充実度上位項目	ランク	充実度
出産・育児支援	1	30.3
高齢者支援	2	23.0
障害者支援	2	18.0
地価・家賃	2	34.0
住宅の数・広さ	3	46.0

▼充実度下位項目	ランク	充実度
お祭り・イベント	44	23.3
公共交通インフラ	44	5.7
天候	44	20.3
飲食・買い物店舗	45	9.3
商店街・中心市街地	46	3.3
地域の知名度	46	7.0

編集後記

人はつながるとしあわせなのか？そもそも、僕らが「地域のしあわせ」に関する研究をはじめたのは2人の素敵な人との出会いがきっかけです。1人目は高知県佐川町長の堀見和道氏です。昨年10月に 44 歳にて佐川町長に当選。公約の一つ「住民、役場職員とともにみんなで総合計画をつくる」というプロジェクトに声をかけていただきました。その計画づくりのプロセスを考えていた時に、いま一つクリアにならないことがありました。それが計画の「目標」です。何を目標に計画をたてるのか？その達成度合いをいかに測るのか？最近の総合計画では人口減少の対応策として目標人口を明記しているものが多いですが、人口は目標というよりも、まちづくりの結果でしかありません。町長と議論を交わしながら、この問題に思い悩んでいた際に遭遇した二つ目の出会いが慶應義塾大学大学院の前野隆司先生です。ある講演会のパネルディスカッションのメンバーとしてお会いし、先生の幸福論のプレゼンを聞いている途中で「これだ！」と確信しました。住民のしあわせの最大化こそが総合計画の目標であり、成果を確認する指標なのだと。
この２人との偶然の出会いが僕らに新しい挑戦と素晴らしいプロジェクトをもたらしてくれたように、今回の調査でも広いつながりが人のしあわせに大きな影響を与えることが明らかになりました。多くの出会いをつくり、多様な人々を呼び込むことができることが、しあわせな地域の必須条件のようです。

バックナンバー

No.01
『しあわせな地域ってどんなところだろう？』

ローカルハッピネス創刊号では、47 都道府県別の地域しあわせ風土スコア、風スコア、土スコア、各指標別スコアを紹介しました。また、しあわせ地域ケーススタディ 01「海士町（島根県隠岐郡）」も必見です。

次号は
『しあわせな地域には何があるのか？』

地域のしあわせ風土を高めるためには、何が必要なのか？しあわせな地域にはどんな環境やインフラが整っているのか？しあわせ風土調査では、自分が暮らす都道府県の環境やインフラ、行政サービスなどの地域エレメント 40 項目の充実度を聞いています（調査項目は p.08 参照）。
稼ぎが良い仕事が豊富なこと？地域の知名度？交通の利便性？社会福祉が充実していること？豊かな自然環境？ 40 項目とスコアの関係性を探ることで、しあわせ風土を高めるために地域が取り組むべき具体的なアクションを探ります。

ローカルハッピネス　No.02
2014 年 9 月 17 日発行

編集　筧 裕介
特別協力　前野 隆司（慶應義塾大学大学院システムデザイン･マネジメント研究科委員長）
調査・分析　竹井 真希
取材・執筆　高山 裕美子
アートディレクション　水内 智英
デザイン　神谷 涼子
編集アシスタント　馬場 麻理子

発行所　issue+design / hakuhodo i+d
〒107-6322　東京都港区赤坂 5-3-1 赤坂 Biz タワー 11 階 1107c
tel.03-6441-7752　fax.03-6441-7749
http://issueplusdesign.jp/

Copyright © 2014 issue+design All Rights Reserved.

地域みらい大学

地域課題解決と人材育成の
Social Design School

何もないこのまちに、どうやったら観光客を呼べるだろう？
このまちの自然を活用した新しい特産品が作れないかな？
うつ、孤独死、生活習慣病。心と体に病を抱える住民のために、何ができるだろう？
女性が暮らしやすい、働きやすい地域って、どういうところだろう？
若い人がここで起業して、住み続けてくれないかな？
住民のしあわせのために、どんな総合計画をつくればいいのだろうか？

http://socialdesignschool.jp

地域しあわせラボ by 地域みらい大学

共同研究・受託研究募集中

地域しあわせラボでは、人口減少が急激に進む日本、地域における住民のしあわせの本質と構造を明らかにする調査・研究を行っております。全国 15,000 人調査をベースに、日本各地の自治体向けに、住民の幸福度を最大化し、人口減少を抑制するために必要なまちづくりや計画づくりを支援する調査・研究・コンサルティングサービスを提供してまいります。以下のような課題に直面している自治体の皆様はお気軽にお問い合わせください。

◎自分たちの地域の幸福度は全国的にみてどの程度なのだろうか？
◎どんなところに弱み、強みがあるのだろうか？
◎住民の定着、移住（流入）を促すために、何をすべきなのだろうか？
◎どんな計画、ビジョンをつくり、政策を実施していくべきなのだろうか？
◎女性が働き、子どもを産み、育てやすい地域とするために何が必要なのだろうか？

http://issueplusdesign.jp/project/local-happiness